

「LGBTフレンドリー不動産」の広がり期待

シースタイル調査

シースタイル(東京都中央区)が運営する不動産関連の比較査定サイト「スマイスター」が、「LGBTのパートナーとの住生活」についての街頭調査を行った。調査対象は、2017年5月6日に東京都渋谷区で開催されたLGBTイベントの会場近くにいた男女150人。

「LGBT」とは、L=レズビアン、G=ゲイ、B=バイセクシュアル、T=トランスジェンダーの頭文字をとった略称。

調査ではパートナーが「いる」41.9%、「いない」58.1%、「同棲している」15.4%、「同棲していない」84.6%との回答を得た。

「パートナーと暮らす際の問題」では、「将来の不安」38.1%、「近所や周囲からの差別や無理解」29.7%、「賃貸住宅が借りにくい」28.0%などがあがった。LGBTを理由に入居相談や入居を断らない「LGBTフレンドリー不動産」も広がりつつあるが、同性カップルの入居を認めない賃貸住宅も多い。